

IAST表記法と発音

(International Alphabet of Sanskrit Transliteration)

ヒンディー語・ブラジャ語・サンスクリット語

サンスクリット語とヒンディー語は、同じデーヴァナーガリー文字を使いますが、発音に若干の違いがあります。ドゥルパドのバンディシュの大半は、ブラジャ語 (Braja Bhāṣā) で書かれており、発音はヒンディーに準じます。国際的に広く使われているIAST表記法はおおむね統一されていますが、アヌスワルの表記法にはṁとṁの二通りあるようです。ここではṁを採用しました。

【母音】

短母音

- a (अ) …… 英語のson, sunのように、硬くて短い発音。
- i (इ, ि), u (उ, ु) …… 短く発音。
- r (ऋ, ृ) (後ろに母音を伴わない場合) …… ほぼ、riと発音。

長母音

- ā (आ, ा) …… 英語のfatherの、aのようにオープンで長い発音。
- ām (आँ) …… 鼻に抜かず長母音アー。最後に口を軽くあけたまま、軽くムと喉の奥でしめくくる。
- ī (ई, ी), ū (ऊ, ू), e (ए, े), o (ओ, ो) …… イー、ウー、エー、オー、と長い発音。

二重母音

- ai (ऐ, ै) …… ヒンディーでは甘くアとエの中間ぐらいで発音、サンスクリットではアイ。
- au (औ, ौ) …… ヒンディーではオウと発音、サンスクリットではアウ。

【子音】

- kh (ख), gh (घ), ch (छ), jh (झ), th (थ), dh (ध), ṭh (ठ), ḍh (ढ), bh (भ), …… 胸の辺りから語気を強めて。
- c (च) …… 語気を強めないで、ca - チャ、ci - チ、cu - チュ、ce - チェ、co - チョ。
- ṭ (ट), ṭh (ठ), ḍ (ड), ḍh (ढ) …… 舌を少し奥に引っ込めて発音。
- ṇ (ण) …… 舌を少し奥に引っ込めて重たく発音。
- r (ड), ṛh (ṛ) (ヒンディー語、後ろに母音を伴う) …… ḍ / ḍh と r の中間のような発音。
- ś (श) …… 語気を強めてshの発音 (英語のshineのように)。
- ṣ (ष) …… 舌を少し奥に引っ込めてshの発音。
- jña (ज्ञ) …… ヒンディーではギャ。サンスクリットでは、ジニヤまたはニヤ、南インドのある地方ではグニヤという風に発音。ジュニヤは日本訛り。
- v (व) …… 英語のvのように、下唇を上の前歯にあてる。
svi, dva のようにvの前に子音があるときは、swi, dwa のようにwの発音になる。
(地方によって違いあり)。
- h (ः) …… ヴィサルガ (:) と呼ばれるサンスクリット独特の気音。直前の母音に対応して、ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、と息を吐く。母音は含まれない。(サンスクリット語)
- ṁ (ँ) …… アヌスワルと呼ばれる。口を完全に閉じずに「ム」と発音する。文末には来ない。

【その他の記号】

- ' (s) …… アヴァグラハと呼ばれる記号で、二つの単語が音韻結合 (サンディ) して母音 a が省略されたことを示す。(サンスクリット語)